

# 東京大学教育学部附属中等教育学校 見学会報告

主催・企画：事業推進協議会イベントWG・将来ビジョン委員会

JL 0003/14/5303-0254 ©2014 SICE

## 1. はじめに

事業推進協議会のイベントWGは創立50周年を記念したイベント小委員会の活動を継承し、「体験セミナー」や「現場見学会」を企画・実施しております。今回、SICEの新たな異分野連携やビジョンプロデュース活動の契機となることをねらいとして、将来ビジョン委員会との連携のもとで11月19日に東京大学教育学部附属中等教育学校において「教育現場見学会」を開催いたしました。見学会には、大学および企業から12名の参加がありました。



## 2. 実施内容

東京大学教育学部附属中等教育学校は、東京大学との関係を活かした独自の教育活動をすすめているほか、約60年前から双生児を生徒として数多く入学させ、さまざまな実践や調査、ケーススタディなどを通じた双生児研究をすすめていることを特色とする学校です。

見学会では、まずSICEの将来ビジョン委員会委員長でもある東京大学大学院教育学研究科の山本義春教授から「教育は医療と並び（ムダが多く）スマート化が期待される分野」という事前説明をいただき、続いて、授業見学、施設見学、教育現場とのディスカッションが行われました。

### 2.1 授業見学：国語（ITを活用した授業）

国語の授業では、PCとプロジェクタを活用して、問題提示の効率化、生徒発言と教員説明の流れの可視化（課題提示と問題点の系統的な整理）が行われていました。こうした授業スタイルにより、生徒の書き写しの負担をなくし、集中して考えさせることをねらっているとのことでした。

### 2.2 授業見学：体育（双生児研究と関連して）

2組の双生児を含む5年次男子の柔道練習を見学後、教育を通じた蓄積データの分析による双生児研究の概要（体育や芸術の分野での類似性・表現形態、非言語的コミュニケーション）についてご紹介をいただきました。

### 2.3 施設見学

社会インフラとしての学校施設を紹介いただきました。最も特徴的な施設として紹介されたのが、校舎屋上に設置されたプールです。こうすることで非常時に学校が地域の避難所になった際、水道が復旧するまでに、環境衛生保持に必要となる非飲用水の大量確保を図っているそうです。

### 2.4 教育現場とのディスカッション

ディスカッションに先立ち、同校が双生児研究を開始してからの主要な成果についてご紹介いただきました。その後、見学対象であったITを使った授業スタイルを巡って、コミュニケーション、インタラクションとしての授業のあり方などが議論されました。ご自身が双生児という参加者も居られ、双生児研究の内容とご自身の経験とを重ね合わせて熱心に討論に加わっていただけました。

### 当日のスケジュール

- 11:20～11:40 事前打合せ
- 11:40～12:30 授業見学：国語（ITを使った授業）
- 13:10～14:00 授業見学：体育（双生児研究と関連して）
- 14:00～15:00 施設見学（含図書室）
- 15:00～17:00 教育現場とのディスカッション

## 3. さいごに

本見学会は、東京大学教育学部附属中等教育学校の全面的なご協力により実現したものです。企画から当日の進行まで大変お世話になった副校長の村石幸正先生、授業見学とディスカッションでお世話になった国語の浅香真弓先生をはじめとする学校関係者に深く感謝いたします。

今回の見学会は、SICEとしての教育現場との連携、さらにはビジョンプロデュースに向けて、課題抽出や方向性模索の契機となりましたが、初の試みでもあり、次年度以降も継続的に発展させたいと考えております。次回も会員の皆様の奮ってのご参加を期待しております。

（文責：事業推進協議会：金児純司）

（2013年12月19日受付）